

以上私ハ東上五縣ノ凶作状況ヲ見ルニ平生ノ根柢ガ悪イト思フ。東京  
ヲハ本月ニ十一日東京無産団体が集マツテ「東上地方農村救済改進黨  
ヲ組織シテ、大衆党、全農、東京市族ノ三団体ヲ世話役ニ送定シタ  
何卒関西ニ於テモ東上同様ノ会合ヲ持タルレバ幸甚ナル云々。

新興佛教青年同盟 妹尾義郎

山形、秋田、西縣ノ報告モ杉山代談士ト同様ナルカラ皆思スル。  
青森縣ノ西平内ノ話ハ  
「西平内地方ハ男ノ出家ハ非常ニ多イ。一年ノ内十ヶ月ハ外ニ出テ  
二月シカ家ニ居ラナイ。出家先ハ函館、札幌等ヲ賃銀ハ一月三十円  
位分サツテアル。又青森縣新庄村ニハ今ガ殆ンド終久、雨ハ降ソ  
テモ今ヲサシテ井ナインヨ營養不良ハ入貫入ノ木炭炭ヲカツクナイ青  
年ガ減ムアル。」  
此ノ方面ノ生活程度ノ低下シテ井ルコトハ杉山氏モ云ハレタ通多年  
ノ探取ニ喘イテ結果ト思想的ニ封建的ナルコトヲアル。又小作料ノ肉  
係ノ如キモ「親子制度」ハ「刈割制度」ガ現在ヲモ行ハレテ井ル。我々ハ東

上地方ノ恒久対策トシテハ封建的思想カラ民主的思想ハト導クマツニ  
スベキナル。

尚秋田縣ノ盛造ハ非常ニ多ク行ハレ平年ニ百萬石位盛造ガナサレ、又  
年々四五千人ノ女ヲ嫁外ニ出シテ井ル。何故盛造ヲ行フカト云フト蕭  
一ハ娛樂場所ガナイノト、蕭ニハ天候ノ関係カラアルラシイシ、  
盛造ニ依ソテ年々九十一万ノ斜料ガ計上サレテ井ル。是等ノ罪惡ハ經  
済問題ガ円滑ニ行ハレナイカラアル。

尚此ノ間名古屋ニ賣ラレタ娘カラノ手紙ヲ一ツ大ケ書キ戻シテ未タノ  
ヲ読メテ見マセツ。

此ノ手紙ノ發送人ハ十四才ノ女ノ子供ヲ父親、母親、妹等ニ宛テ七  
八本末ヲ井タ。其内父親、母親、妹ニ宛テ手紙ヲ讀ソテ見ヨツ。

△父親宛テ手紙

私ハ名古屋ニ行ツテカラト云フモノハ晚ノ三時、四時頃ニ就寝シ  
朝ハ九時ニ起サレル其ノ間ニ火ハ本ノ手紙ヲ書クノ為ニコソナ  
ニナシ未タマテセツ一日モ早切両親ノ下ニ歸リタイソツテ仲ヨク  
暮ラシ度イ云々

△母親ニ宛テ手紙